



# 5年ぶりに世界大会が開催され、 世界中の働く仲間が米国・フィラデルフィアに集結！

生保労連は、国内外の働く仲間とのネットワークの強化の一環としてUNI<sup>\*1</sup>を通じた国際交流を行っており、フィラデルフィア<sup>\*2</sup>にて第6回世界大会が5年ぶりに開催されました。「Rising Together～共に立ち上がろう！」をテーマに世界中の仲間と白熱した議論を行い、各国の課題や取組み・見解等を共有しました。

世界大会には、109か国から約1,200名（日本からは約70名）の組合指導者が参加し、「公正で包摂的な経済に向けた団体交渉」「デジタル時代のディーセント・ワーク」「グローバル協定を通じた組織化」等、幅広いテーマについて各国・地域における課題・取組みを共有化しました。

生保産業を代表して、住友労組田中委員長、日本労組篠原委員長、生保労連松田副書記長の3名が代議員・オブザーバーとして参加しました。松田副書記長から



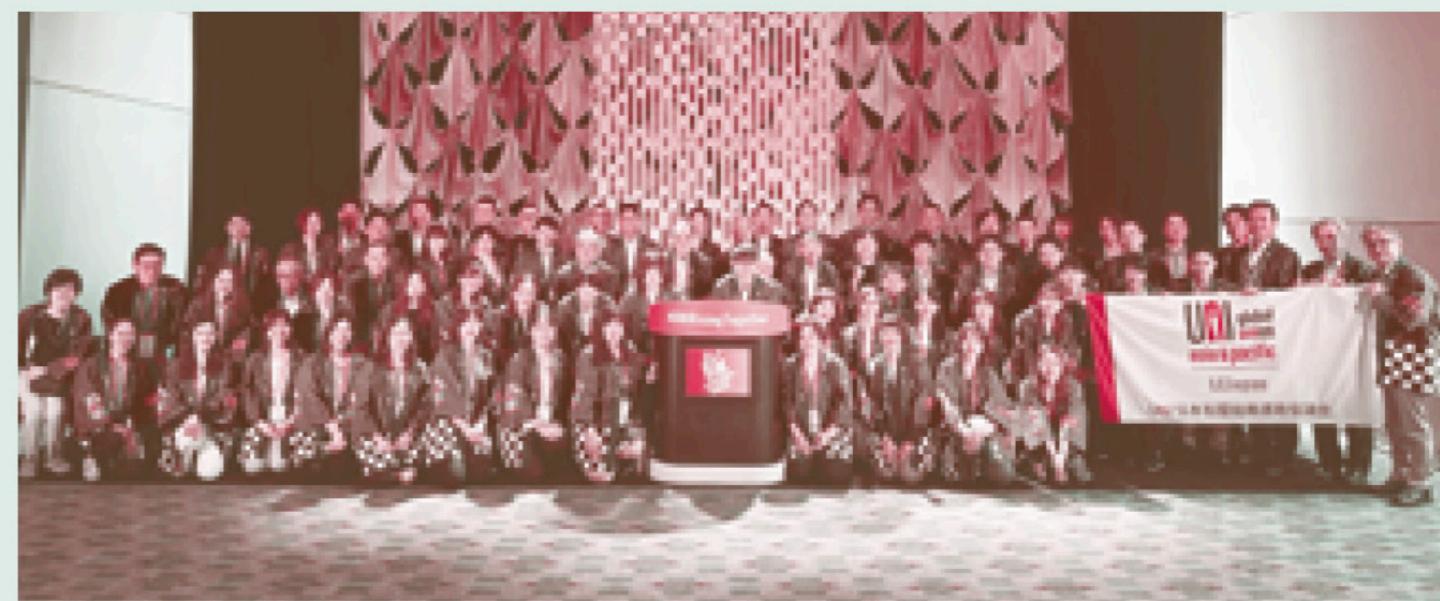
▲労連の取組みについて発表する松田副書記長



を行いました。

また、UNI世界大会との併催で、UNI世界金融部会大会も開催され、「持続可能な金融経済の実現に向けた取組み」「金融部門におけるテクノロジーの活用」等

▲日本からの出席者



に関する事例の共有が行われました。特に金融部門はデジタルとの親和性が高く、日本でも今後さらに効率化や事業費削減が進むと想定されます。それにともない、浮いたリソースが「従業員」に還元されるよう、労働組合として取組みを進めていく必要があることも確認されました。

\*1:UNI（ユニオン・ネットワーク・インターナショナル）：世界150国の商業、流通、情報、金融等、サービス産業の900労働組合が加盟する国際産業別労働組合。組合員数は2,000万人。

\*2:フィラデルフィアは、ベン・フランクリン、トマス・ジェファーソンなどのアメリカ建国の父たちが独立宣言に署名した場所でもあり「アメリカ誕生の地」とも呼ばれています。また、1944年には「労働は商品ではない」との原則が盛り込まれたILOのフィラデルフィア宣言が採択されている等、労働組合にとっても意義深い土地である。